# 各地区で総会開く

## 新役員・評議員を選出

### 活動方針や予算を承認

北大阪地区

北大阪地区は3月13日、千里阪急ホテルで総会・記念講演会を開き、25人が参加した。

伊津進弘理事長のあいさつのあと、平川光彦地区責任者が議案提案し、活動方針・予算・役員などすべての議案を承認した。

後半は、雫石聰氏（大阪大学歯学部名誉教授）が「歯科診療室での歯周保健のための禁煙サポート」と題して記念講演会を行った。雫石氏は、一日の喫煙本数が増えれば、歯周病のリスクも増加するが、喫煙により増加した歯周病のリスクは禁煙期間が長くなるにつれ、低くなる事から、喫煙は歯周病の大きなリスクファクターである事を力説された。

禁煙サポートとしては、無関心期・関心期・準備期・実行期・継続期と五つのステージ別のアプローチ法を紹介され、一気に実行・継続期へと促す事は禁煙の失敗につながりやすいため、各ステップを着実に進めていけるように働きかける事が大切であると話された。

（吹田市・岩住征紀）

### 他団体との連携強める

東大阪・八尾・柏原地区

東大阪・八尾・柏原地区は3月12日、東大阪市内で総会を開き、活動のまとめと方針、決算と予算案を承認し、地区役員・評議員を選出した。地区責任者には貴島正彦氏（東大阪市）を再選した。参加は23人。活動方針では、①会員間の交流を深める②他団体と連携を強め地域の医療行政改善に取り組む③地域住民の健康をまもり医院の活性化へ向けた住民健診・健康教室へ積極的に取り組むほか、地区で連続の社保講習会を開催する――ことなどを確認した。

記念講演は、王宝禮氏（大阪歯科大学医学教育開発室教授）が「今、何故口腔内科なのか?」をテーマに、マクロライド系抗菌薬による歯周病治療法を中心に熱弁された。ご自身の業績・研究内容・歯科界の歴史・そのとりくみの中での医科とのかかわり・口腔内科の今後の可能性についても話された。協会の今後の運動・活躍を期待される演者の気持ちが伝わってくる前向きな講演だった。

さらに、伊津進弘理事長があいさつで、東北の震災復興のための協会の対応を説明し、参加者に救援募金を訴えた。

（東大阪市・中西幹夫）

### 市への働きかけ柱に

大阪市南部地区

大阪市南部地区は総会を3月12日に協同組合会館で開き、活動のまとめと活動方針、決算と予算を承認した。

方針では、①幅広いテーマでの講習会の開催、会員交流を図る文化企画の実施②会員訪問・地区ニュースなどを通して、協会活動を周知する③社保協などと連携しての保険でよい歯科医療を求める取り組み④市内他地区と連携して、大阪市へ社会保障制度や医療・歯科医療充実にむけて働きかける⑤医科歯科連携を進める――などを活動方針の柱にすえて地区活動に取り組む。

地区責任者には、門奈丈石氏（平野区）を選び、評議員6人を再選。新たに2人の評議員を選出した。

総会冒頭に小澤力副理事長が、東日本大震災の支援募金への協力をよびかけた。

また、門奈丈石地区責任者は、医療に市場原理を持ち込む危険性のあるTPPへの参加など、政府の動きを監視していくとともに、安心・安全の医療・歯科医療をめざしていきたいとあいさつした。

### 地区責任者に美島氏

大阪市北部地区

大阪市北部地区は3月12日、保険医会館で総会を開き、活動のまとめと決算、方針と予算、役員体制を提案し、承認された。

方針では、①〝会員に喜ばれる〟協会らしい講習会の開催、他の大阪市内地区と連携・交流を深める企画の開催②歯科医師・患者の要求を自治体へ反映させる働き掛けと、社会保障推進協議会などと連携した社会保障を守り改善する運動③住民の健康と医院への受診を促す健診・健康教室活動④医科歯科連携を図る――を柱に取り組む。

役員体制では、責任者に美島達平氏（新、北区）を始め、評議員7人を選出した。

### 医科支部との連携探る

大阪市東部地区

大阪市東部地区は3月12日、保険医会館で総会を開き、①〝会員に喜ばれる〟協会らしい講習会の開催②他の大阪市内地区と連携・交流を深める企画の開催③歯科医師・患者の要求を自治体へ反映させる働き掛けと、社会保障推進協議会などと連携した社会保障を守り改善する運動④医科協会該当「支部」との連携を探る――を重点にした方針を確認した。

また、活動報告と決算・予算を承認し、地区役員・評議員を提案通り選出した。

**医科・歯科・協同組合**

**親睦ゴルフのご案内**

【日時】4月29日（金・祝）午前8時35分スタート（8時集合）
【場所】茨木国際ゴルフ倶楽部（茨木市大字宿久庄98）
【定員】10組40人（定員になり次第、締め切ります）
【対象】医科・歯科の協会会員および家族・スタッフ、協同組合取引業者
【費用】約2万5千円（コンペ費用込み）
【申込】歯科協会・西野（☎06―6568―7731）

---

国会行動

# 国保料軽減などで要請

## 消費税増中止署名2千筆を提出

協会・保団連は3月10日、患者負担大幅軽減、消費税増税中止・医療等への「ゼロ税率」の適用、税務調査の強化につながる国税通則法改悪反対、自主共済の実態に即した政省令の制定などを求め、衆参議員会館で大阪選出国会議員に要請した。

協会からは、古田光行、宮本辰雄両監事と事務局員が参加し、住江憲勇保団連会長と共に大阪選出の議員に要請した。辻惠（民主）、服部良一（社民）、吉井英勝（共産）の各衆院議員と面談した。

各議員へは、「国保加入世帯の2割が保険料を滞納するほど国保料が高すぎる。国保加入の半数近くが所得200万円世帯であり、所得の4分の1を占める国保料では、滞納せざるを得ない」と実状を訴え、国庫負担を増やす対策を求めた。

服部議員は、「社民党として国保料軽減のため1000億円の財源をつくることなど、予算に関する6項目を民主党に要請している。今後も引き続き要請したい」と述べた。また、12年度診療報酬改定に向けて厚労省交渉においても力添えいただける旨の意見を得た。

吉井議員は、「TPP参加の勢いが弱まっている。これは、署名などがボディーブローのように効いている」と述べ、運動の重要性を強調した。

会員から寄せられた請願署名「消費税増税の中止と医療をはじめとする生活必需品にゼロ税率の適用を求める」2千筆の国会提出には、服部、吉井各議員が紹介議員になることを快諾した。

辻惠議員（中）

吉井英勝議員（右から2人目）

服部良一議員（右から2人目）

### 要請議員一覧

【面談】
（民主・衆）辻惠
（共産・衆）吉井英勝
（社民・衆）服部良一
【秘書対応】
（民主・衆）大谷信盛、大谷啓、平野博文、長安豊、萩原仁、樽床伸二、森山浩行、熊谷貞俊、熊田篤嗣、中野寛成、長尾敬、渡辺義彦、吉田おさむ、中川治、藤村修、辻元清美
（同・参）梅村聡、尾立源幸、藤原正司
（自民・衆）松浪健太、柳本卓治、谷畑孝、西野あきら
（同・参）北川イッセイ、谷川秀善
（公明・衆）佐藤茂樹
（同・参）白浜一良、石川博崇、山本香苗
（共産・参）山下芳生
（無所属・衆）中島正純
（敬称略・順不同）

---

大阪市北部・東部・南部各地区

# 総会後に合同で説明会

## スーパーボンドとエムドゲインゲル

大阪市北部・東部・南部各地区は、総会と合わせて合同で「スーパーボンドとエムドゲインゲル」の説明会を3月12日、M&Dホールで開き、歯科医師ら60人が参加した。サンメディカル㈱・生化学工業㈱の両担当者から、商品の特徴や使用法、取扱注意点について説明された。

スーパーボンドでは、①モノマー液数が増加すれば硬化時間が延長できる②プライマーは一度塗布が基本で繰り返し塗布は接着力の低下を招く③保存は常温でよく温度変化は劣化を招く――とした。

エムドゲインゲルでは、①使用が決まってから購入して欲しい②麻酔は歯間乳頭部に打たない方が良い③エッチングは15～20秒が良い――と、臨床上の使用手順も説明された。

（淀川区・松本博）